

## 一般社団法人日本薬学生連盟 2025年度補欠選挙立候補申請書

立候補者氏名	山田真由香
立候補する役職	薬学総合委員長
大学/学部/学科	名城大学薬学部薬学科
学年	3年
所属	薬学総合委員会、地域連携委員会、交換留学委員会、外務部、国際渉外部
日本薬学生連盟での活動経歴	2023年度 夏SEP 東海地域リーダー 外務部 OBOG講演会企画 企画長 2024年度 東海新歓 企画長
立候補動機	日本薬学生連盟に加盟してから今まで、多くの企画で長を努めてまいりました。そこで委員長として複数の企画を束ねる経験を通し、委員会を引っ張っていくリーダーシップやスタッフ一人一人に気を配れる視野の広さを身につけたいと考え、前任者からの推薦も相まってこの度立候補する運びとなりました。
問題点と改善案	・運営が不安定 新設の委員会であり、委員長一人の手腕により運営が成り立っていると感じたため、自立した委員会を目指すために、企画長を任せられる人材の育成に特に力を入れ「基盤を作ること」を目標に活動いたします。人材の育成のために、やる気のあるスタッフに積極的に声をかけ、年度前半のうちは、企画長のコンサルタントのような立ち位置で、ミーティングのタイミングや企画書の書き方など企画の運営に必要なことを教えながら、企画を作っていくと考えています。薬学総合委員長に就任した暁には、月例ミーティングや電話での話し合いなどコミュニケーションを取れる場所を積極的に用意していきたいと思っております。 また、企画終了後のミーティングで、運営の反省点やよかったところをスタッフと振り返り、委員長としてフィードバックを行うとともに、次はどんな企画をやりたいかを話し合い、新しい企画の立案、新たな人材の育成に繋げていきます。
活動計画	4月 新規スタッフ募集 スタッフへのアンケート実施 5～6月 アンケートを基にした企画の立案、準備 スタッフ交流会の開催 内部企画の開催、振り返り 8～9月 PPAC準備、開催 外部企画の開催、振り返り 新しい企画の立案 10～11月 献血イベント準備、開催 内部企画の準備、開催、振り返り 12月 外部企画の開催、振り返り 2～3月 年会準備 引き継ぎ
所信	薬学総合委員会は昨年度新設の新しい委員会で、基盤を作っている段階です。まだ薬学総合委員会に所属して間もない私ですが、数多くの委員会や部署で3年間活動を続けてきたからこそ、そこで得られた視野や企画を動かした経験を活かして、2025年度で薬学総合委員会のメンバーと共によりよい委員会を作りたいと考えています。そのために、薬学総合委員会に所属するスタッフとの信頼関係を築けるよう、自分の長所である、明るく接しやすい性格を活かして、積極的にスタッフとコミュニケーションを取る所存です。  またスタッフと共に企画を作っていくなかで、数多くの委員会で企画長を務めた際に私自身が感じた企画を運営する楽しさ、面白さをスタッフと共有し、やりがいやモチベーションに繋げたいと考えています。  現在、日本薬学生連盟が今抱えている問題として、会員の不足が1番に挙げられると思います。直面している状況を改善するために、薬学総合委員長としては、スタッフ会員にアンケートを実施し、「日本薬学生連盟のどこに魅力を感じているか」「この団体に



## 一般社団法人日本薬学生連盟(APS-Japan)

〒151-0072東京都渋谷区幡ヶ谷3丁目39-12ウェストビル1階

Email: [apsjapan@apsjapan.org](mailto:apsjapan@apsjapan.org) HP: <https://apsjapan.org>

所属したきっかけとなった企画は「なにか」などを聞き、そのアンケートの結果を企画のヒントにして、全国の薬学生にとってより有意義で価値のある企画を作り上げていく所存です。

このように団体全体の認知度や魅力をよりたくさんの薬学生に知ってもらうきっかけとなる企画を生み出し、薬学総合委員会そして日本薬学生連盟全体の活発化に寄与できるように委員長として努めます。